

# 島田鮎子展

色彩と形態のリリズム

# Ayuko Shimada



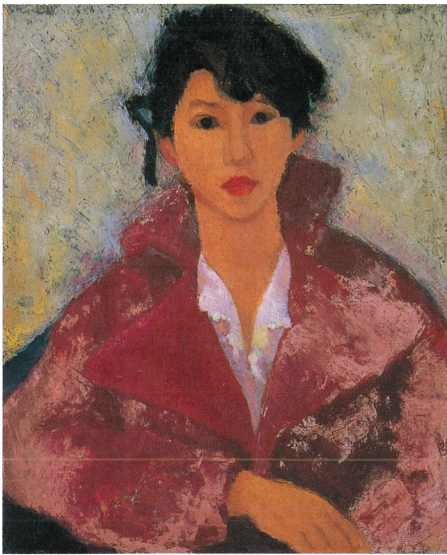
「白い印象」1994年

1999年4月24日[土] - 5月16日[日] 刈谷市美術館 愛知県刈谷市住吉町4-5 TEL.0566-23-1636  
交通案内=JR・名鉄三河線[刈谷駅]下車、南口から徒歩10分

休館日：4月26日[月]、30日[金]・5月6日[木]、10日[月] 開館時間：午前9時 - 午後5時(入館は閉館30分前まで)但し、金・土曜日は午後7時まで開館 初日開館：午前11時

入場料：一般600円(400円)、学生400円(200円) ( )内は前売り料金及び20名以上の団体料金、就学前の子どもは無料

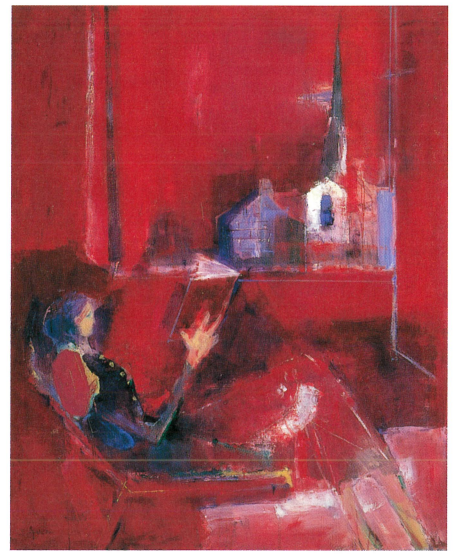
主催：刈谷市・刈谷市教育委員会・刈谷市美術館・中日新聞社・東海テレビ放送 後援：愛知県教育委員会



「自画像」1954年



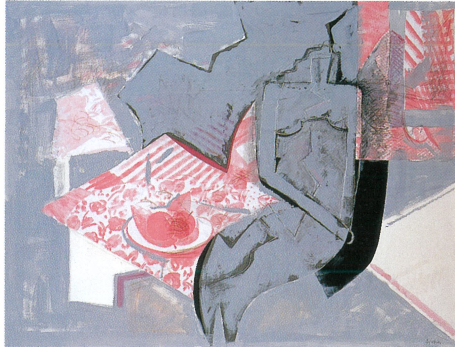
「柵の中の風景」1963年



「読書の時間」1972年



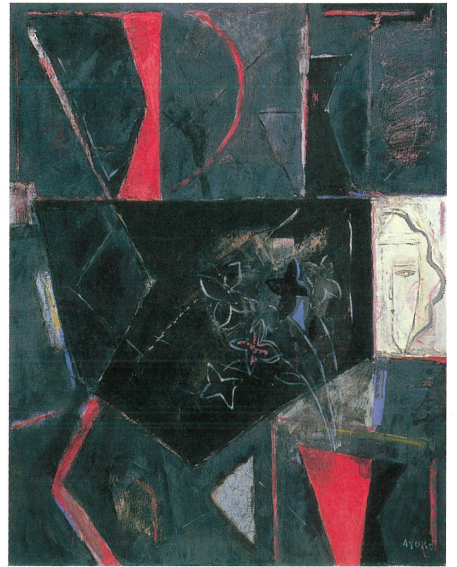
「腕を組む二人」1980年



「午後の日差し」1994年



「夏の日」1994年



「卓上一黒に染める」1998年

# Ayuko Shimada

## 島田 鮎子 展

### 色彩と形態のリズム

透明感に満ちた色彩と豊かに呼応する幾何学的な形態。島田鮎子は、日常のできごとをモチーフに独自の诗情あふれる絵画を展開しています。

1934年東京に生まれた島田は、幼い頃から音楽と絵画に親しみ、やがて「音は瞬時に消えることから、情感を定着できる絵画」の世界へと進みました。1958年東京芸術大学美術学部油画科を卒業、さらに専攻科で学び、1962年修了後、第36回国展に初入選するなど、「赤、青を基調として空間の中に形態が埋没するような仕事」によって画家としての活動を開始しました。

1966年夫君島田章三の愛知県立芸術大学への赴任にともない名古屋に転居し、以後現在にいたるまで名古屋を中心に制作活動をつづけています。1968年には、愛知県在外研究員となった夫君の1年に渡るヨーロッパ留学に同行し、多くの美術館をめぐるながらヨーロッパの古典絵画を吸収し、帰国後、室内風景のなかに日常を取り込む画風を構築しました。

1980年頃からは、しだいに画面を浮き立たせるよう

な明るい色彩が登場しはじめ、のびやかな空間性が現れました。そうした作風は、1990年代に入ってからいっそうの深まりを見せ、自由な軽快さをかねそなえた不思議な奥行きを生んでいます。日常のひとこまを通じて自らの内面精神が表現された作品には、早くから音楽的な要素が反映され、色彩と形態が調和するメロディックな画面構成がなされています。具象と抽象が響きあい、繊細なイメージが生みだされるマチエール。それぞれの造形要素が奏でる画面からは、幻想に満ちた静謐な精神性を見ることができます。

近年、その着実でおやかな画業のあゆみは、1994年愛知県芸術文化選奨文化賞、1997年第20回安田火災東郷青児美術館大賞を受賞するなど、ますます高い評価を受けています。

このたびの展覧会は、芸大在学中の初期から新作にいたる油彩画、コラージュ、素描など約110点により、島田鮎子の優美な芸術世界をご紹介します。

※会期中、一部展示替えをいたします。

会期中の催しもの

対談：島田鮎子×松本育子  
(担当学芸員)

「島田鮎子の絵画世界」

5月2日[日] 午後2時から

場所/美術館研修室

定員/70名(聴講無料)

(要整理券、展覧会チケット)

ギャラリートーク

4月29日[木]、5月8日[土] 午後2時から3時

## 刈谷市美術館

愛知県刈谷市住吉町4-5 TEL.0566-23-1636  
交通案内=JR・名鉄三河線[刈谷駅]下車、  
南口から徒歩10分

